

110年の歴史の源流に立って

本荘高校 校長 吉原慎一

ようこそ、本荘高校のホームページにおいでくださいました。

本荘高校は、今年で創立110周年を迎える秋田県でも有数の歴史と伝統を持つ学校です。本校のある由利本荘市は、遠くに出羽富士と謳われる名峰烏海山を仰ぎ、その雪解け水に源を発する子吉川が流れる地味豊かな本荘平野の広がる街です。

110年前に源を発したひとしづくの雪解け水が、小川となり、急峻な崖を駆け下り、水かさを増して滔々と流れる大河となった。本校の人材の流れが、まるで子吉川の流れのように、全国、そして世界という大地を潤しています。

学校開校当時に本校が担っていた使命や設立の理念が、今も後輩たちに脈々と受け継がれ、学業、部活動において水際だった成果をあげています。さらに、今一度創立の原点に立ち返ることで、自らを伝統を受け継ぐ者として捉え直してもらいたいという意味で、「110年の歴史の源流に立って」というスローガンを掲げています。

高等学校の目的の一つは、一人一人の進路の決定にあります。学校生活を通して人間性を養い、鍛え、高い学力を身につけることでそれぞれの希望進路に向かって飛び立ってほしいと願っています。

高校時代には、多感であるが故の悩みや困難に直面することがあるでしょう。そのときに、強い風にあおられながらもしっかりと自分の足で立ってほしい。そして、高い志を保ち、学ぶことをつづけてもらいたいと思います。「自らの足で立ち、学問の翼で飛べ」――本高の生徒は、どのような困難にも立ち向かうたくましさを持ち、高い学力をもって天翔てほしいと願っています。

本高には右文尚武、質実剛健、玲瓏同氣の3つの校標があります。右文尚武とは、文と武の両方を重んじ兼ね備えること、質実剛健は、飾りけなくまじめで、強く健やかなこと、玲瓏同氣とは、優れた者同士が切磋琢磨して、ともに人格を高めあうことを表した言葉です。この校標に示された本高生の在り方・生き方を普遍的な価値とし、現在に敷衍したのが「自らの足で立ち、学問の翼で飛べ」という言葉です。

本校の生徒は今、110年の歴史の源流に立って、高みを目指して、学問の翼でまさに飛び立とうとしています。